

山梨医療安全研究会会報

会長あいさつ

本研究会発足のきっかけとなったのは、山梨県看護協会におけるリスクマネジメント委員会の活動でした。3年間に亘って県内の医療機関を対象に行った安全対策の実態調査から、医療機関のリスクマネージャーは、ほとんどが看護師長職などを兼任しており、十分な研修や情報交換の機会がないまま業務に当たっていることが明らかになりました。また、リスクマネージャーは高い役割意識を持っているにもかかわらず、自らの役割遂行に苦慮していることも分かりました。

このような実態を改善し、県民に質の高い医療を提供するために、医療安全に関する疑問や課題を持った人々が職種や職域を越えて集い、情報収集や研修等の自主的な活動を展開できる会を目指したいと考えております。

既に3月末で約70名の方の入会を頂いております。会員の皆様と共に医療安全の向上に資することのできる研究会に育てて行きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

山梨県立大学 看護学部 松下由美子

「山梨医療安全研究会設立総会」が開催されました！

平成18年2月4日、看護研修センターにおいて、県内の看護師らでつくる山梨医療安全研究会設立総会が開催され、県内の病院・施設関係者220名が参加しました。

席上、松下由美子会長は、「医療安全は看護職だけでは守れない。他職種や一般市民の方々にも是非、研究会に参加していただきたい。」と挨拶。来賓として県医務課・山本看護指導監、里吉看護協会長、日本看護協会・佐々木氏より今後の活動に期待の言葉が寄せられました。

また、「医療事故被害の経験を現場に生かす」と題して、新葛飾病院セーフティマネージャーの豊田郁子氏の記念講演が行われました。医療事故で5歳のお子さんを失った自身の体験を通して、事故の背景と問題点、事故被害者としての活動、セーフティマネージャーとして活動するに至った経緯と院内での主な活動が話され、自身の悲しみをバネに医療職ではないにもかかわらず、医療安全に取り組んでいる姿勢に感動の声が寄せられました。そして、参加者一人一人が医療組織の一員として自身の役割の重要性を再認識し、今後の医療安全の取り組みへの決意を新たにしました。







参加者の声

私がNHKより取材を受けました！！

医療者と患者の距離を知り、誠意と説明の大切さを知った。被害者でありながらこのような活動をしていることに感謝します。また、研究会が他県との情報交換や関係を持ち、躍進することを望みます。

事故を起こさないようにするためには、意識だけでなく知識が必要であり、組織的に取り組む必要性を強く感じました。

今まで病院間で一緒に考えていくという機会がなかった。医療に携わる人達が、一緒に考えていくことはとても大切なことだと思います。



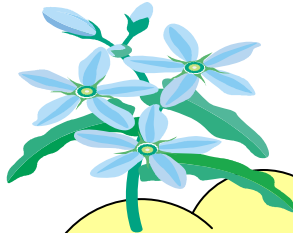
平成18年度研修会日程 *研修会はいずれも山梨県看護研修センターにて

- 第3回 平成18年 6月3日(土) 13:30~ 『転倒・転落防止』 ~参加者受付中~
- 第4回 平成18年 9月2日(土) 時間未定 『事故分析の手法(メディカル・セイファー)』
- 第5回 平成18年12月2日(土) 時間未定 『危険予知訓練(KYT)』

ニュース

今回の診療報酬改定で、「医療安全対策加算」(入院初日1回に限り50点の加算)が新設されました！！

急性期入院医療において専従の医療安全管理者を配置している場合に算定でき、(専任の院内感染管理者の配置も要件となる。)
「医療安全管理者は、医療安全管理委員会と連携しつつ医療安全に係る状況を把握し、その分析結果に基づいて医療安全確保の為に業務改善等を継続的に実施する。また、医療安全確保の為に職員研修を計画的に実施するとともに、必要に応じて各部門における医療安全管理の担当者への支援を実施し、その結果を記録する。」などが義務付けられている。



山梨医療安全研究会のブログが出来ました！是非のぞいて下さい。検索方法は、gooのブログから『山梨医療安全研究会』を検索してください。皆さんの書き込みをお待ちしています。